

平成 22 年 度 事 業 報 告

1. 会員加入状況
2. 給付金事業
3. 健康維持増進事業
4. 勤労者の老後安定事業
5. 自己啓発・余暇活動事業
6. 勤労者の財産形成に係る事業
7. 勤労者の福祉に係る事業
8. その他サービスセンターの事業

財団法人乙訓勤労者福祉サービスセンター

1. 会員加入状況

(1) 入会状況

年 月 日	事業所	会員数
平成 8年 4月 1日	52	310
平成 9年 4月 1日	249	888
平成10年 4月 1日	360	1,364
平成11年 4月 1日	439	1,503
平成12年 4月 1日	456	1,517
平成13年 4月 1日	538	1,662
平成14年 4月 1日	527	1,629
平成15年 4月 1日	524	1,518
平成16年 4月 1日	548	1,538
平成17年 4月 1日	602	1,652
平成18年 4月 1日	679	1,790
平成19年 4月 1日	746	1,965
平成20年 4月 1日	860	2,174
平成21年 4月 1日	924	2,326
平成22年 4月 1日	944	2,396
平成23年 4月 1日	1,004	2,439

(2) 行政区別会員数

行政区	会員数	占有率	人口	対人口加入率
向日市	482	19.8%	54,133人	0.89%
長岡京市	1,265	51.9%	79,873人	1.58%
大山崎町	410	16.8%	15,040人	2.73%
その他	282	11.5%		
計	2,439	100.0%		

2. 給付金事業

(1) 共済給付事業

区 分	給付金額	件数	金額 (千円)
結婚祝金	15,000	21	315,000
出産祝金	10,000	59	590,000
入学祝金 (小学校)	5,000	53	265,000
入学祝金 (中学校)	5,000	64	320,000
成人祝金	10,000	3	30,000
銀婚祝金	10,000	24	240,000
真珠婚祝金	5,000	12	60,000
珊瑚婚祝金	10,000	31	310,000
ルビー婚祝金	5,000	14	70,000
サファイヤ婚祝金	5,000	13	65,000
金婚祝金	10,000	12	120,000
還暦祝金	10,000	68	680,000
永年勤続祝金 (10年)	5,000	76	380,000
永年勤続祝金 (15年)	10,000	40	400,000
永年勤続祝金 (20年)	10,000	40	400,000
永年勤続祝金 (25年)	10,000	24	240,000
永年勤続祝金 (30年)	10,000	23	230,000
永年勤続祝金 (35年)	5,000	19	95,000
退会餞別金 (5年を超える)	5,000	8	40,000
退会餞別金 (10年を超える)	10,000	17	170,000
死亡弔慰金 (会員：～64歳)	300,000	4	1,200,000
死亡弔慰金 (会員：65歳～)	150,000	5	750,000
死亡弔慰金 (会員の配偶者)	50,000	6	300,000
死亡弔慰金 (会員の子)	20,000	0	0
死亡弔慰金 (会員の親)	10,000	57	570,000
傷病見舞金 (14～29日)	5,000	15	75,000
傷病見舞金 (30～59日)	10,000	20	200,000
傷病見舞金 (60～89日)	15,000	10	150,000
傷病見舞金 (90～119日)	20,000	5	100,000
傷病見舞金 (120日～)	25,000	13	325,000
重度障害見舞金 (1～3級/～64歳)	300,000	0	0
重度障害見舞金 (1～3級/65歳～)	150,000	0	0
障害見舞金 (不慮の事故)	～100,000	1	45,000
障害見舞金 (交通事故)	～200,000	1	10,000
災害見舞金 (火災：一部焼・一部壊)	～30,000	1	20,000
合 計		759	8,765,000

3. 勤労者の健康維持増進に係る事業

(1) 人間ドック利用補助事業

人間ドック利用補助 S (自己負担 20,000 円以上)	年 1 回	8,000 円
人間ドック利用補助 A (自己負担 8,000 円以上 20,000 円未満)	年 1 回	4,000 円
人間ドック利用補助 B (自己負担 8,000 円未満)	年 1 回	2,000 円

区 分	利用者数	助成金
人間ドック利用補助 S	112 (99)	918,000
人間ドック利用補助 A	38 (48)	152,000
人間ドック利用補助 B	18 (9)	36,000

(2) 法定定期健康診断、生活習慣病検診費用の補助事業

法定健康診断利用補助 A (事業主負担 5,000 円以上)	年 1 回	1,000 円
法定健康診断利用補助 B (事業主負担 5,000 円未満)	年 1 回	800 円

区 分	利用者数	助成金
利用補助 A	349 (192)	349,000
利用補助 B	45 (41)	36,000

(3) 健康ハイキング

①平城遷都 1300 年記念ウォーク	平成 22 年 5 月 30 日	21 名参加
②京都一周トレイル (東山コース①)	平成 22 年 10 月 24 日	11 名参加
③震災跡地めぐりと神戸異人館自由散策	平成 23 年 3 月 7 日	16 名参加

4. 勤労者の老後生活安定事業

(1) セミナーの開催

乙訓労福協との共催でライフプランセミナー「あなたは大丈夫？」を開催した。

平成 22 年 7 月 29 日 37 名参加

5. 勤労者の自己啓発及び余暇活動に係る事業

(1) 文化教養事業

1) 事業名 パソコン教室 (年賀状作成と宛名書き印刷)	平成 22 年 11 月 21 日	10 名参加
クリスマスアレンジメント教室	平成 22 年 11 月 28 日	29 名参加

2) その他事業

・通信教育講座利用補助 (NHK 学園)	3 (2) 名
・映画入場券の斡旋 (東宝、イオンシネマ久御山など)	941 (1,363) 枚
・スーパー銭湯入場券の斡旋 (2,089+774+592)	3,455 (3,645) 枚
・遊園地入場券 (海遊館、ひらかたパークなど)	671 (702) 枚
・観劇入場券 (京都府長岡京記念文化会館、京都会館など)	118 (186) 枚
・各種チケット (チケットぴあ)	592 (580) 枚
・その他チケット (全福センター近畿ブロック共同購入 [KPC])	14 (0) 枚

(2) スポーツ事業

1) 事業名 プロ野球観戦 (阪神タイガースVS福岡ソフトバンク戦)

平成22年 6月 6日 40名参加

2) その他事業

- ・向日市民プール入場券 2,970 (3,146) 枚
- ・高槻市立芥川緑地プール「ぷーるびあ」 16 (0) 枚
- ・ゆめパレアむこう入場券 339 (290) 枚
- ・フィットネスクラブ「コスパ」入場券 561 (694) 枚

(3) レク・旅行事業

1) 事業名 ビアパーティー

平成22年 7月16日 91名参加

全福センター近畿ブロック共同事業「夏休み海釣り大会」

平成22年 8月22日 8名参加

かに食べ放題ツアー

平成22年12月19日 81名参加

2) その他事業

- ・ジェフグルメカード (全国共通食事券) 10,499 (12,123) 枚
- ・ホテルdeぐるめ {申込者総数1,970名} 402 (480) 名
- ・東京ディズニーリゾート 274 (231) 枚
- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 316 (327) 枚
- ・びわ湖花火大会有料観覧席チケット 30 (50) 枚
- ・ビアバイキングクーポン券 116 (105) 枚
- ・クリスマスケーキ、忘・新年会限定特別クーポン券 88 (90) 枚
- ・プリペイドカード(フカ-カード 649、阪急バスカード 171) 820 (612) 枚
- ・長岡京駅西駐車場券 2,689 (2,074) 枚
- ・新幹線チケット (回数券) 156 (113) 枚

(4) 旅行補助事業

旅行補助 A (公的宿泊施設の宿泊を伴う) 年1回 4,000円

旅行補助 B (日帰り又は公的宿泊施設以外の宿泊) 年1回 2,000円

(ただし、A又はBのどちらかを1人年1回に限る)

区分	利用者数	助成金
旅行補助 A	795 (781)	3,180,000
旅行補助 B	43 (42)	86,000

6. 勤労者の財産形成に係る事業

(1) 生活融資、住宅融資に対する保証料の一部補助

6月、7月、11月、12月号のピロティニュースへ折り込みを行ったり、8月号のニュースで無料相談会の案内を掲載しましたが、残念ながら利用者がなかった。

今後も引き続き、無料相談会の案内などの掲載や折り込みでPRを行う。

(2) 府・市協調融資や、労金の生活資金融資についてピロティニュース(6月)で情報提供した。

7. 勤労者の福祉に係る事業

1) 事業名 ボランティア体験講座①「ボランティア交流会」

平成22年 7月31日 11名参加

ボランティア体験講座②「海外ボランティア帰国報告会」

平成22年11月13日 34名参加

ボランティアセミナー「新しい公共って？」

平成23年 3月26日 50名参加

8. その他サービスセンターの事業

(1) 広報宣伝活動事業

- ・ピロティおとくにニュースの発行（毎月）
- ・インターネットのホームページや携帯電話を利用したピロティおとくに情報サイトでピロティニュースに掲載できなかった情報を随時掲載した。
ホームページ又は携帯サイトへメールアドレスを登録している会員にはメールで最新情報を送信した。
また、携帯サイトへの登録キャンペーンを実施した。（5月号のニュースへ掲載）
- ・公用車にスピーカーを設置し、配達時などに宣伝テープを流した。
- ・2市1町の広報誌に記事の掲載をお願いした。
（向日市 12月／長岡京市 11月／大山崎町 12月）
- ・2市1町の議会議員（各党派）への広報宣伝（協力要請含む）を実施した。（12月）

(2) 加入促進活動事業

- ・国の緊急雇用対策の補助金を利用し、ハローワークより2名採用して会員の加入促進を実施した。
- ・労働組合（パナソニック半導体、長岡病院、日立マクセル）へチラシを配布し、加入促進を実施した。
- ・乙訓医師会の会報誌に折り込みをお願いした。（6月号発行時に同封）
- ・京都府美容業生活衛生同業組合 向陽支部へチラシを配布し、加入促進を実施した。
- ・会員の紹介による勧誘活動を実施した。（紹介者が入会した場合に薄謝進呈）
- ・7月から9月にかけて「新規入会キャンペーン」を、3月に「既加入事業所追加入会キャンペーン」を実施したが、合計で『59名』の成果しか得られなかった。
※新規入会キャンペーン期間中の入会者は、入会金を免除
※既加入事業所追加入会キャンペーン期間中は、初回の入会金および会費を免除
- ・2市1町のイベント（向日市まつり、ガラシャ祭り）でのPR活動を実施した。

(3) 自立化のための事業

- ・ピロティ所有の備品（印刷機・紙折機など）の有償貸出を行う。
昨年度と同様で特に印刷機の格安貸出は大変好評で、定期的に利用される会員の利用も増え、一般の方も数件ではあるが徐々に利用されるようになった。

- ・毎月発行しているピロティニュースへの有償の「折り込みチラシ」や本誌への「広告掲載」は、件数的には昨年度より増えているが、関連の業者（全福市場、近畿労働金庫、全労済など）の折り込みが多かったため、昨年度より約 126,000 円の収入減となった。

※全福市場や全労済については、会員が購入または契約をされた場合、斡旋手数料または事務手数料の収入があります。

- ・僅かでも財源を確保するために、物品（家庭常備薬、火災報知機、お中元・お歳暮商品など）の斡旋販売を行った。
特に「家庭常備薬」の斡旋を年間 3 回行い、販売手数料収入（約 218,000 円）の収入増となった。